

いもち病（葉いもち）情報第2号

令和2年7月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

一部イネほ場で葉いもちの発生が確認されました ほ場における発生状況に注意しましょう

6月下旬の巡回調査の結果、一部のほ場で葉いもちの発生が確認されました。イネいもち病発生予察用シミュレーションプログラム（BLASTAM）を用いた葉いもち感染好適日の判定によれば、6月20日に岡崎と新城、25日に県内各地、27日に稲武で感染好適日となりました（表）。いもち病菌に感染すると7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。コシヒカリ、ミネアサヒ等、本病に抵抗性を持たない品種は注意しましょう。

7月2日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。本病の発病に好適な条件が続くため、本田の発生状況に注意し、発生を確認したらオリブライト1キロ粒剤、ブラシンプロアブル、コラトップ粒剤5などで防除しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（6月17日～7月1日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	—	9	4	—	④	④	—	—	1	④	④
6/20	—	—	—	—	—	●	④	—	—	●	④
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	—	—	—	—	—	6	7	4	9	④	7
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
6/25	●	●	3	—	●	●	—	—	4	●	9
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	—	—	—	—	②	—	—	—	1	—	●
6/28	6	6	6	5	6	8	7	6	5	—	6
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	④
6/30	5	2	5	—	5	3	4	—	—	4	4
7/ 1	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- ：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
 - ①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
 - ②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
 - ③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）
 - ④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）
- 数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数
- ：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）
- ？：判定不能